

# 一般質問

2月27日、28日の本会議で、18人の議員が、市政全般について、一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。

## 市民生活に影響を及ぼす大雪に対する防災力向上を



公明党 粕谷 稔 議員

**議員** 2月の記録的な大雪は市民生活に大きな影響を及ぼした。今後は積雪対策としての水防本部の設置が必要と考える。所見を伺う。  
**市長** 今後、積雪対策も地域防災計画に盛り込む必要があると考えている。水防本部の中に含めるのか、積雪対策本部として個別の体制とするのか検討したい。

**議員** 今回の大雪は週末であったためか、公共施設の雪かきがされていないとの指摘もあった。①小中学校 ②保育園の対応を伺う。  
**教育長** ①教職員、保護者、近隣住民などの協力により月曜日の登校時まで全ての学校で雪かきを行った。

**子ども政策部長** ②登園時の園児・保護者の安全が守られるよう各園の立地状況に応じて雪かきを行った。  
**議員** 大雪により道路の交通渋滞、電車の遅れ等が相

## 安全安心な放課後の居場所 地域子どもクラブの拡充を



公明党 赤松 大一 議員

**議員** 学童保育所に入所できない児童の保護者から、安心して児童を預けられる場所を望む声が高まるな

ど、全市立小学校で実施されている地域子どもクラブが注目されている。同クラブの現状と課題を伺う。  
**市長** 保護者や地域住民からなる実施委員会を主体に充実した活動を行い、年間18万人以上の児童が参加している。運営を継続するためのスタッフや安全管理者の確保等が課題である。

**議員** 活動内容を更に充実させるため、各地域子どもクラブに協力する人財の活躍の場を市内全校区に広げる支援が必要ではないか。  
**市長** クラブ間の情報交換を推進し、多様な人材活用と事業の充実を図りたい。

**議員** 障がい児が地域子どもクラブに参加する際の対応の現状と課題を伺う。  
**子ども政策部長** 保護者同伴で参加する場合もある。児童により異なる障がいに対応するプログラムの検討やスタッフ確保が課題だ。

**議員** 地域子どもクラブがない日や夏休み等における高齢者・障がい者が安心して住み続けられる施策の推進を

## 高齢者・障がい者が安心して住み続けられる施策の推進を



公明党 寺井 均 議員

**議員** 東日本大震災を教訓とした災害対策が求められている。障がい者等支援が必要な人の避難経路のバリアフリー化について、現状と今後の取り組みを伺う。  
**市長** あんしん歩行エリア整備などを進めている。道路の更なるバリアフリー化を推進し、避難経路等の安全確保に努めていきたい。

**議員** 認知症ケアパス(状態に応じた適切なサービス



地域子どもクラブの活動(東台小学校)

業者と連携・協働を図りながら取り組んでいく。  
**議員** 空き店舗の利活用については、今後、障がい者団体や福祉事務所との連携も必要だ。空き店舗への障がい者就労支援施設の出店を支援してはどうか。  
**生活環境部調整担当部長** 先進事例もあるが、本市の場合は地方に比べて費用が高額になることが予想されるため、しっかりと調査・研究を行っていく。

## 若者の新たな生活のあり方と主権者教育の推進について



民主党 岩見 大二 議員

**議員** 厳しい経済や雇用環境にあえぐ若者に対して、新たな生活や就労のあり方についての選択肢を示すこともこれからの自治体の責務と考える。所見を伺う。  
**市長** SOHO起業者の地域活動への参加や次世代を担う人々が交流しながら新たな地域づくりを進める学びの場等の開催など、本市においては、若者の新たなライフスタイルを少し先取りしてきた部分もある。

**議員** 子どもや若者向けの政策決定の場において、子どもや若者が参画できる仕組みをつくり、積極的に意見を取り入れてはどうか。  
**市長** 個別的、具体的なケースにおいて必要性を検討しつつ、適切な手法を検討していきたい。

**議員** 近年、特に地方選挙の投票率の低下が著しい。若い世代の地方政治への無関心は、便宜的に投票を呼びかけても解消されず、抜本的な対策が必要だ。学校

## 市民の心を捉えた広報のあり方について問う



民主党 石原 恒 議員

**議員** 広報みたか等、主要広報媒体の活用の中で、市民の意図をより多くの市民に伝えるには、定期的にニーズを把握しなければならず、そのあり方についてイノベーションが求められている。どのようにニーズを把握し、生かしているのか。  
**市長** ホームページでの、利用状況に関するアンケート調査等を通じた積極的な意見収集のほか、職員が直接市民から受ける要望等を広報にも反映している。

**議員** 市から発信する重要な情報は、住民協議会等の承諾を得て街頭の掲示板を利用させてもらいたい、可能な限り周知を図るべきだ。  
**企画部調整担当部長** 今後必要に応じて掲示板の活用を図ってみたい。

**議員** 更に市民協働を進めていく上で、広報を市民と協働で企画・編集することも非常に有効だ。市民協働による広報特集号を発行する  
**議員** 広報をより積極的に活用する  
**議員** 広報をより積極的に活用する

## 若者の実態把握に努めより一歩踏み込んだ支援を



日本共産党 大城 美幸 議員

**議員** 近年の非正規雇用労働者の増加やブラック企業の社会問題化など若者をめぐる雇用環境が大きく変化している。三鷹市として国・都と連携し若者支援に積極的に取り組むべきだ。